

1 全国学力・学習状況調査（４月１８日実施）の概要

(1) 「教科に関する調査」と「生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査」です。

調査対象教科は、国語・数学で、それぞれA問題とB問題で構成されています。

(2) 教科に関する調査の内容について

【A問題】：主として「知識」に関する問題	【B問題】：主として「活用」に関する問題
◇身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容。	◇知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力。
◇実生活に不可欠で、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等。	◇様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 等。

2 教科（国語・数学・理科）に関する調査結果の概要

国 語 A	本校の3年生が得意としている力	△文章の構成を工夫して分かりやすく書く力。 △文脈に即して漢字を正しく読む力。 △語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う力。
	本校の3年生が苦手としている力	▼楷書と行書との違いを理解する力。 ▼古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える力。 ▼事象や行為などを表す多様な語句について理解する力。
国 語 B	本校の3年生が得意としている力	△相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す力。 △目的に応じて必要な情報を読み取る力。 △登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する力。
	本校の3年生が苦手としている力	▼目的に応じて資料を効果的に活用して話す力。 ▼必要な情報を集めるための見通しをもつ力。
数 学 A	本校の3年生が得意としている力	△平行移動した図形をかく力。 △角の二等分線の作図が、図形の対称性を基に行われていることを理解する力。 △扇形の弧の長さを求める力。
	本校の3年生が苦手としている力	▼空間図形における直線と直線との位置関係を理解する力。 ▼等式を目的に応じて変形する力。 ▼整式の加法と減法を計算する力。
数 学 B	本校の3年生が得意としている力	△2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明する力。 △与えられた式から、aの変域に対応するbの変域を求める力。 △2つの角の大きさが等しいことを三角形の合同を利用して証明する力。
	本校の3年生が苦手としている力	▼事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力。 ▼資料から必要な情報を適切に読み取る力。 ▼与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈する力。

3 学習状況（生活習慣・学習習慣・学習内容）の調査結果の概要

全国平均と比較して、肯定的な回答を示した割合が高い質問内容。 （数値は全国平均との差）	①毎日朝食を食べていますか。（+3.5 P） ②学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。（+4.3 P） ③先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う。（+3.5 P） ④外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う。（+2.6 P） ⑤1、2年生の時に受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。（+7.5 P） ⑥1、2年生の時に受けた授業では、生徒間で話し合う活動がよくあったと思う。（+4.5） ⑦1、2年生の時に受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う。（+27.7 P）
全国平均と比較して、肯定的な回答を示した割合が低い質問内容。 （数値は全国平均との差）	①難しいことでも、失敗を恐れずに取り組んでいますか。（-6.5 P） ②自分には、よいところがあると思いますか。（-3.8 P） ③友達の前で自分の意見や考えを発表することは得意ですか。（-3.7 P） ④将来の夢や希望を持っていますか。（-10.0 P） ⑤授業で学んだことをほかの学習や普段の生活に生かしていますか。（-12.8 P） ⑥普段1日当たり3時間以上ゲームをしている。（+9.2 P） ⑦普段1日当たり3時間以上携帯・スマホを操作している。（+7.5 P） ⑧普段1日当たり2時間以上勉強している。（-9.6 P） ⑨1、2年生の時に受けた授業で振り返る活動を行っていた。（-6.9 P）

4 指導の改善策（結果を分析し、9月の職員会議で重点策の共通理解を図り取り組んでいます）

<主体的・対話的で深い学びからの授業改善 ⑤・⑥・⑦・⑨>

- ・次期学習指導要領（中学校は、平成33年度から完全実施）改定の主要テーマの1つである「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向け、今年度から1単位時間の学習の流れ「課題の提示（見通す）⇒個人思考（振り返る）⇒集団思考（交流する）⇒まとめる」を全教科の学習を通して実践しています。
- ・数学Aの $10-6 \div (-2) =$ 、 $x+4y=1$ を y について解く、 $(2x+5y)-(6x-3y)=$ の正答率が全国平均と比較して低かったので、ほっかいどうチャレンジテスト単元別問題等を活用しながら、1、2年生では放課後に正の数と負の数の加減法等や四則計算等について補習学習会を行ったり、理科や社会等の他教科でも計算について学習する機会を増やしています。

<社会に関かれた教育課程 ⑦>

- ・1、2年生での地域交流学習・職場体験学習等において、地域社会と本校生徒に身に付けさせたい資質・能力を共有し、一層充実した取組になるよう教育課程を編成していきます。

<家庭学習の習慣づくりに向けて ④・⑥・⑦・⑧>

- ・学校の授業で覚えても復習しなければ、そのほとんどは忘れてしまうと言われています。10月25日発行の生徒指導部通信で家庭生活調査結果をお伝えしました。各学年とも概ねよい結果が得られました。今一度、将来の夢や希望について話を聞いたり、ゲームやメディア等の接触時間等について、お互いが納得した家庭での使用ルールを作成していただければ幸いです。